



車内の金城学院大学

124限目

「空間デザイン概論」

7/14(日)・8/10(土)  
オープンキャンパス開催!

 **130**  
Dignity & Humanity  
KINJOGAKUIN ANNIVERSARY 2019

## 「工場の屋根は、なぜノコギリ型？」

[ 建築デザイン ]

工場のイラストなどで、ギザギザの形をした屋根を見たことがあると思います。これは「ノコギリ屋根」と呼ばれ、イギリスで動力織機が開発された1820年代に生まれ、日本では1960年代まで主に紡績や織物を扱う工場に取り入れられた建築デザインです。ノコギリ屋根は、片面に大きな採光窓を設置した三角屋根が連続した構造で、糸や生地の色を確認するのに適した自然光を工場の隅々まで取り込むことができました。また、ほとんどの場合、採光窓は北側に設置されており、直射日光の差し込みを抑えて一日中安定した明るさを保つことができました。当時は電力供給が不安定であり、照明を使わずに安定した明るさを確保するための工夫が設計に盛り込まれていたのです。このように、建築デザインとは、豊かな創造力に加え、採光や動線、省エネや耐震など、様々な課題に応える力も求められるのです。

高い専門性で様々な課題を解決する。それが生活環境学部 環境デザイン学科。

強く、優しく。



**金城学院大学**